

公益社団法人 福岡県理学療法士会

平成 31 年度 第 1 回理事会議事録

日 時:平成 31 年 4 月 27 日 (土) 15:00～

場 所:麻生リハビリテーション大学校

出席者:(理事) 西浦、永友、近藤、廣滋、音地、佐藤、宇戸、高橋、久原、諫武、永野、
山内、遠藤、福田、今村、岩佐、松崎

(監事) 森田、日野

(選挙管理委員) 秋

(事務員) 中山、長田

(欠席) 久保田、熊谷、時吉

(書記) 池田、池永

議長は、西浦会長がつとめ、永友副会長および近藤事務局長とともに議事録に署名することを確認した。

【審議事項】

【会長】

1. 平成 30 年度事業報告について (別紙 1)

諫武理事: 事業報告について報告。訂正があれば早めに連絡と提出をお願いしたい。総会までに代議員に郵送し、昨年同様に質問も同時に受け付ける予定である。

今村理事: 一部名称を「ケア会議推進リーダー」に変更したので変更してほしい。

松崎地域包括ケア推進局長: 参加者数などの再報告はいつまでに提出しなければいけないか。

近藤事務局長: 訂正は 5/7 に提出をお願いします。「ケア会議推進リーダー」の名称変更は県への正式な手続きが済んでいないので現在の名称で提出してください。名称の登録が終了してから、統一しましょう。

→承認

2. 平成 30 年度決算について (別紙 2-8)

諫武理事: 収入は予算よりも 600 万多かったが、支出は予算から大きく外れなかった。50 周年記念式典の予算が、予算よりも多くかかり、結果的にそこで調整できた。

会費納入率が予定よりも高かったことが、収入が増えた原因と考える。

近藤事務局長: 遊休財産はどのくらいまで余裕があるのか。どのくらい黒字化可能か?

諫武理事：単年度で約 2000 万超えてはいけないが、現在、そこまでの財産はない。今年は 50 周年記念の行事があり、多くの予算を使用しており、予想の計算では大丈夫だが、予想以上の参加者やお祝い金が出た場合に注意が必要になる。

西浦会長：財務部ご苦労さまでした。各理事、予算通りの運用を心がけてください。

→承認

3. 2019～2020 年度年度役員選定における理事会推薦について

西浦会長：来年度役員は定数より不足しているため 2 名の理事と 1 名の監事について、3 役で協議して推薦者をあげた。選考理由について説明する。まず、時吉先生は現理事であり、県士会事務所勤務を 2019 年 4 月より勤務している。理事が県士会事務所にいるとフレキシブルに会長代行などを兼ねた活動ができると思う。財務部理事および地域包括ケア推進部理事の経験もあり、その経験を活かしてもらえろと考え、推薦を決めた。

→承認

西浦会長：加藤先生は、長期にわたり総務部部長を担っている。県士会の歴史も知っている。理事会にも出席する部署であり、どこの部署に配属されても柔軟に動けると考え推薦したい。

→承認

西浦会長：監事においては、田中先生を推薦したい。理事の経験も長く、地の利からも出席しやすい。県士会の歴史もよくご存じで監事として活躍してくれると考え推薦した。

山内理事：反対したい。最後の県士会活動から 10 年間のブランクがある。白石先生を監事に推薦したい。白石先生は日本理学療法士協会の理事をされており、日本理学療法士協会理事と福岡県理学療法士会とが関係して活動したことは、今までない。監事として来ていただければ、協会の動きや情報などをできる範囲で教えてもらえるかもしれない、福岡県理学療法士会として早く動けることができると考える。

西浦会長：3 役会議では白石先生の名前は上がった。白石先生は日本理学療法士協会の理事なので理事会を欠席される可能性があるかと判断した。前回の理事会で不足の理事と監事は 3 役推薦と決まった。田中先生について決議したい。ブランクあるかもしれないが、今までの監事がそうでなかったわけではない。参加しやすく、人柄から推薦に至った。

永友副会長：白石先生も検討したが、協会理事と連盟会長を担っておりこれ以上の負担をお願いできないと判断し、田中先生を最終的に推薦することに決めた経緯を理解してほしい。

西浦会長：決を採る。賛成 13 名、反対 1 名のため承認とする。

→承認

4. 2019年度定時総会について（別紙9-15）

諫武理事：スケジュールを説明。昨年同様、代議員へ事前に質問を頂戴し、質問内容を関連部署に配布するので、回答をお願いします。代議員へはその回答を配布し、各部署から返答をする形を考えている。また、前回の総会中に、代議員の質問に対し「検討」「懸案」と回答した項目について、まとめた。ほったらかしにせず、どういう形でもいいので各々の理事が回答してはどうかと総務で考えた。

永友副会長：前回の質問についてもきちんと回答をした方がいいと思う。総会で回答資料を渡せるようにしてはどうか。

西浦会長：今年度の総会資料への質問とはどう違うのか。

諫武理事：昨年度と同様、今年度の総会資料への質問は受け付ける。しかし、前回総会中に明確に回答できず「検討したい」と答えた質問についての回答をするかどうかについて意見を求めている。各理事は、昨年度の取り残した質問と今年度の質問の2種類について回答してはどうかと提案する。

宇戸理事：全部を詳細に答えるのは大変ではないか。重複や追加の質問にならないか。

諫武理事：昨年度の総会で出たご意見に対しての「進捗状況をお答えします」と報告することを考えている。

永友副会長：代議員に対しては、今回の総会や資料に対してのみ、ご意見を伺うことには変わらない。昨年度の質問について進捗を聞きたいかという質問をするわけではない。昨年度検討事項としたことについて、一年間で県士会が対応した結果を提示することは大事である。

近藤事務局長：どのように、どのタイミングで配布すべきか。代議員からの質問が昨年度と重複しないようにするならスケジュールが難しい。

諫武理事：代議員への資料発送に入れるとスケジュールがタイトなので、総会時に配布という形で考えている。

日野監事：代議員は自分の質問がどうなったのかの進捗を気にしていると思う。総会の時に渡してあげるように準備しておいた方が親切と考える。しかし、今回、提示された資料は長すぎてみにくい。

諫武理事：今回は議事録をそのまま提示しているので、総会の時は質問を見やすく変更する予定である。

廣滋学術局長：検討の結果を出すべきである。答弁書を作るときは進捗状況の事実を書くべきである。検討中と答えたことに対して検討中と答えないようにした方がいい。

永友副会長：「できる」「できない」「進められない」きちんと代議員に伝えられるようにしましょう。

廣滋学術局長：県士会の方針で決められることは、「出来る」「出来ない」「ここまで進めて

いる」など答弁が可能であるが、協会方針の事案については「協会の方針に従ってここまで進めている」という答弁が必要になると考える。「検討」としない方が良い。

諫武理事：答弁書ができ次第、理事メールで送るので、皆さん確認してください。

→承認。諫武理事と理事メールで昨年度の質問の進捗状況報告と今年度の質問についての答弁資料をやりとりする方針となった。

近藤事務局長：事業報告は承認を求めるものではなく、決算書類の承認を得るためのサポート資料のようなものである。その認識を間違えないようにして下さい。

5. 九州理学療法士学会大会 2021 in 福岡の三役について

下記のとおりとする。

大会長：西浦 健蔵氏 副大会長：廣滋 恵一氏 準備委員長：近藤 直樹氏
今後、局長、部長についても配置をすすめていく。

→承認

【監事】

1. 監査報告について（別紙16）

森田監事：4月18日に監査報告を行った。会費徴収方法が昨年度より変わった。会費の納入率は上がり、未回収率が下がっており、このまま進めてもらいたい。財務諸表について、公益事業開催中のスタッフ及び一般の方の保険に関して、一部気になるところがあり続けて検討を加えていただきたく一筆書かせてもらった。何かあった場合に、会として対応が出来ない部分がある可能性が有り、何らかの対応をしておくべきと考えた。

高橋社会局長：現在県で行っているほとんどの事業は保険に入っている。使用している保険はお見舞金程度で全てを保証するものではない。障害予防事業の一部は保険に入っていない。保険会社に問い合わせなければいけない。

山内理事：地区で使用している保険はどのくらいの保障が出るのか？

西浦会長：スポーツやレクリエーションで使用している保険ではお見舞金程度であろうと思う。ここで議論できないが、保険について企業に確認することと協会が理学療法士にかけている保険が事業で適応できるのか確認しないといけない。会としてこういう保険を使用していて、ここまでの保証が出ますとしか提示しようがない。総務で検討してください。

森田監事：我々が問題にしたのは、保障の内容の問題ではなく、どこまで保障ができる保険を使用しているのか明言できるようにすることが大事と考えている。

→監査内容を承認。保険のことについて今後検討。

【事務局】

【法人事業】

I. 事業

[総務部]

1. 2018年度決算・2019年度予算総会について（別紙9-15）

- 1) 2018年度決算・2019年度予算総会について別紙の通り計画しているので承認を頂きたい。

→承認。

2. 災害対策研修会開催について

下記内容にて災害対策研修会開催および講師について承認を頂きたい。

日時：令和元年6月29日（土）13:00～15:00

場所：麻生リハビリテーション大学校

講演①

テーマ：「災害医療におけるリハビリテーション支援について ～JRATとは～」

講師：赤津 嘉樹 先生（小倉リハビリテーション病院 医師）福岡 JRAT

<略歴>

平成8年産業医科大学医学部医学科 卒業

同年6月産業医科大学病院勤務

平成9年九州労災病院リハビリテーション科勤務

平成13年横浜労災病院リハビリテーション科勤務

平成16年東海旅客鉄道株式会社（JR 東海）健康管理センター勤務

平成17年浜松労災病院リハビリテーション科勤務 部長

平成23年浜松医科大学附属病院リハビリテーション科勤務（助教）

平成25年小倉リハビリテーション病院勤務 医局長

日本リハビリテーション医学会 認定医、専門医 指導責任者

講演②

テーマ：「被災地での活動報告（仮）」

講師：伊藤 元貴 氏（介護老人保健施設 伸寿苑）

講演③

テーマ：「災害時における県士会の取り組みについて」

講師：平原 寛隆 氏（KKR 新小倉病院）

佐藤理事：なぜ北九州の先生方ばかりなのか。九州豪雨があったので筑後の先生では駄目

なのか。

永友副会長：福岡 JRAT は小倉リハビリテーション病院の赤津先生が中心に動いてくれている。JRAT 立ち上げについて、北九州と筑後は準備が進んでいるが、福岡支部は送れている状況である。今回、特に赤津先生が積極的に動いていることから、北九州の講師が中心になった。

福田理事：広報はどういう手段をとるのか。

諫武理事：2 時間で単位認定を行わない。マイページなどは未だ検討していなかった。

西浦会長：OT と ST はどうするのか。予算の関係から今回は一緒に行わないということか。

諫武理事：検討中。

西浦会長：3 士会の中で予算の関係がある事は重々承知している。足並みが揃わなくても早めに着手するテーマであるので PT から進めて欲しい。OT と ST へは事務所に案内を送ってはどうか。本当は 3 士会で一緒に進めた方が良いと思う。各理事、会員へ声かけとお手隙ならご参加もお願いします。

松崎地域包括ケア推進局長：講堂を予約している。会場が広いので講師に失礼にならないよう広報を早くして下さい。

→承認。

【学術局】

【公益事業 1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

[学会部]

1. 特別講演講師案に関してご審議頂きたい（別紙 17）

<特別講演 1 >

第一候補 近藤 克則 先生

(医師 千葉大学予防医学センター社会予防医学研究部門教授大学院医学研究院公衆衛生学 教授)

テーマ「リハビリテーションデータバンクから導く理学療法士が今後取り組むべきこと（仮）」

第二候補 菅本 一臣 先生

(医師 大阪大学大学院医学系研究科運動器バイオマテリアル学 教授)

テーマ「理学療法士なら関節の動きを 3D で捉えよう-画像解析からみる関節の動き-（仮）」

第三候補 石井 壮郎 先生

(医師 筑波大学整形外科医師)

テーマ「未定」

野球肘検診でビックデータを元に、前向きロジスティック回帰モデルから野球肘障害予測をするなど、データの使い方や障害予測など理学療法士に

必要な視点について講演頂く。

→承認

<特別講演2>

第一候補 山口 光國 氏 (理学療法士、セラ・ラボ)

テーマ「患者に触れる前に理学療法士が確認すべき大事なこと (仮)」

第二候補 野添 匡史 氏 (理学療法士 甲南女子大学准教授)

テーマ「脳卒中患者の活動度と再発予防-理学療法士ができること- (仮)」

第三候補 飯田 有輝 氏 (海南病院 理学療法士)

テーマ「集中治療室で理学療法士は何を見てどう行動すべきか? (仮)」

→承認

2. シンポジウム講師・司会案に関してご審議頂きたい

<シンポジウム1>

テーマ「Stop the 心不全 理学療法士ができることやるべきこと」

(講師3名・司会2名)

・内容：心不全の急性期管理・運動療法におけるリスク管理・重症化させないポイントについて。

地域につなげるための取り組み・情報共有・他職種連携における理学療法士の役割について。地域での心リハにおける理学療法士の役割・再発予防・疾病予防で注意すること。

司会案 野元 大 氏 (済生会福岡総合病院 理学療法士)

石松元太郎 氏 (宗像水光会総合病院 理学療法士)

急性期 (患者の診かた、薬剤の理解、運動療法の実際) ※2名選出

第一候補 島添 裕史 氏 (製鉄記念八幡病院 理学療法士)

内部障害専門理学療法士

第二候補 佐藤 憲明 氏 (JCHO九州病院 理学療法士)

内部障害専門理学療法士、認定理学療法士 (循環器)

第三候補 寺松 寛明 氏 (産業医科大学病院 理学療法士)

内部障害専門理学療法士

生活期 (急変兆候の確認、フィジカルアセスメント、維持期の運動療法) ※1名選出

第一候補 神崎 良子 氏 (九州栄養福祉大学 理学療法士)

内部障害専門理学療法士

第二候補 上野 真副 氏 (東筑病院 理学療法士)

認定理学療法士 (循環器)

久原理事：急性期と生活期になっているが、フェーズで考えれば、急性期・回復期・生活期の流れにはできないのか。

音地理事：フェーズというよりは「急性期の運動療法のリスク管理」「地域に繋げる取り組み」「地域でのリハビリ」とテーマを3つ用意しており、3名の先生に講演していただくというように考えている。

西浦会長：講師選定に関しては承認。学会部は先ほどの要望を踏まえて検討してください。
→講師について承認。

<シンポジウム2>

テーマ「理学療法士の職域拡大に挑戦しよう！」（講師5名・司会2名）

司会案 吉田 遊子 氏（九州栄養福祉大学）

永野 忍 氏（九州医療スポーツ専門学校）

ウィメンズヘルス ※1名選出

第一候補 漆川沙弥香 氏（理学療法士 Women's Holistic Health Company 代表）
ピラティスインストラクター APTA 認定産前産後の理学療法・骨盤底の理学療法修了

第二候補 熊丸 真理 氏（理学療法士 麻生リハビリテーション大学校）

第三候補 橋本 優子 氏（理学療法士うらた整形外科クリニック）

ウィメンズヘルス理学療法研究会 福岡支部代表

県士会ワークライフバランス部部長

地域・介護保険 ※1名選出

第一候補 緒方 剛 氏（理学療法士 株式会社 REEHA 代表取締役）
認定・専門未取得

第二候補 松田 浩昭 氏（理学療法士 株式会社リハソリューション 代表取締役）
認定理学療法士（呼吸）取得

第三候補 竹下 真大 氏（理学療法士 株式会社すばるグループ 代表取締役）
認定・専門未取得

行政 ※1名選出

第一候補 久保かおり 氏

（北九州市保健福祉局総務部 地域リハビリテーション推進課 リハビリテーション推進係長）

第二候補 福田 聖子 氏

（北九州市保健福祉局総合保健福祉センター ※2016年時点）

第三候補 西田 紋奈 氏（北九州市八幡西区役所）

学校保健

※シンポジスト選定中

産業

※シンポジスト選定中

音地理事より説明。

岩佐支部局長：各分野で活躍されている先生だと思うが、認定を持って無さそうである。

持っている方が望ましいのではないか

音地理事：その分野に関しての認定が無いが、各専門分野の第一線で活躍されている先生方である。認定にこだわると、第一線での話でなくなる可能性があり、今回は最先端の講演を提供することを優先させた。

岩佐支部局長：そこが目玉と考えるなら良いと思う。

永友副理事：行政の先生方には講師謝金を受け取れない可能性があるが、どのように対応するつもりか。

近藤事務局長：講師を選出してから、先生方に確認して、検討、対応して下さい。

西浦会長：地域・介護保険は専門、認定があるのでその方が望ましいと考える。

廣滋学術局長：学術部からも認定・専門を取得している講師を依頼したが、ウィメンズヘルスは、その専門分野の認定がないがその分野の中心人物であり、妥当と考えた。地域・介護保険については、もっともなので再検討が望ましい。行政や学校保健、産業について認定は望ましいが、認定を取得しにくい職種である。シンポジウムということで取得者を優先的に考えてもらい、講師にも確認はするが、シンポジウムのテーマに合った講師であることを踏まえ、場合によっては認定なしでも推奨したいと考える

西浦会長：その分野で無くても、しかるべき講習を受け他の分野の認定および専門をとっていると望ましいと思う。

永野理事：橋本氏は認定を持っている。管理者研修の講師をして頂くときに確認をした。

近藤事務局長：興味があるので聞くのだが、「理学療法士の職域拡大に挑戦しよう！」というテーマで学会部が伝えたいことは何か。また、行政にどんな話を期待しているのか、詳しく教えて欲しい。

音地理事：行政に関しては、行政で働いている PT が PT としてどう住民や市政に関わっているのかを知って頂くことを目的とした。地域・介護保険に関しては、病院に所属せずに、独立起業して活躍している理学療法士の働き方や PT としての役割などを狙っている。

西浦会長：どうやって起業するのかという話にならないように気をつけて下さい。

音地理事：地域・介護保険に関しては再検討したいと思う。

今村理事：職域拡大と言うことだが、障害者就労に関わっている PT がいたら講師にしてはどうか。

岩佐支部局長：行政職で理学療法士がかかわっているのは北九州しかないのか。北九州に偏っているので、他市は進出していないのか。

音地理事：情報を得る手段が難しく、このような結果になった。むしろ教えて欲しい。

岩佐支部局長：事務所で把握している情報を教えてほしい。

→シンポジウム2のみ学会部で再検討

3. ポスター発表形式について

第27回学会まで：発表7分・質疑3分

第28回学会：発表3分・質疑2分・自由討議30分

第29回学会：発表3分×人数・自由討議

国際学会の形式に合わせて、29回学会より発表なしの自由討議の案も出たが、新人・若手も多く発表する学会であり、時間を決めて発表時間を設けることも必要。その代わり質問時間は設けず、自由討議の際に行っていただく。

音地理事より説明。

→承認

4. ランチタイムセミナーの開催に関して

これまでの昼食休憩時間に「ランチタイムセミナー」を開催したい。

目的：1. より多くの学びの場を提供すること。

2. 昼食時間に会員を会場内に止めておくこと。

方法：50分程度で外部講師に講演していただく。

会場内は全て飲食可能。今年度同様、弁当販売も実施する。

事前にアナウンスを徹底しておくことで、昼食の準備をして来場して頂く。

音地理事より説明。ランチタイムの1時間の中に離れてしまう会員を減らしたく提案した。

→承認

5. プログラム案

	第1会場 国際会議室 420名	第2会場 (502+503) 144名	第3会場 (411+412) 144名	5階ロビー
8:30	受付			
9:00				
9:20	開会式			
9:30				
10:00	特別講演1	特別講演2	シンポジウム2 理学療法士の職域拡大 に挑戦しよう!	ポスター貼り付け・閲覧
10:30				
11:00				
11:15	韓国枠 (仮)日韓交流 学術講演	新人教育プログラム 予定		ポスター発表
11:30				
11:40				
12:00				
12:15				
12:20				
12:30				
	ランチタイムセミナー1	サテライト?	昼食	
13:30				
13:45				
	優秀演題セッション	Young Investigator Awardセッション	口述演題1	ポスター 閲覧
14:45				
14:55				
15:45	シンポジウム1 Stop the心不全 理学療法士ができる こと、やるべきこ	Case Report Award セッション	口述演題2	ポスター 閲覧
15:55				
16:00			口述演題4	口述演題3
17:00				ポスター撤去
17:10				
17:30	表彰式・閉会式			

- ・ 口述セッション 24 演題 (発表 7 分・質疑 3 分 6 演題×4 セッション)
- ・ アワードセッション 18 演題 (優秀演題・YIA・Case Report Award セッション 各 6 演題×3 セッション)
- ・ ポスター発表合計 58 演題

音地理事：現時点での案である。韓国は来られますか？

廣滋学術局長：6 月頃に韓国側で話すと返答があった。先方に 2020 年 2 月がいいのか 8 月がいいのか検討してもらっている。2 月なら県学会、8 月なら学術研修会に

ご参加頂くことになる。

西浦会長：研修会のほうが、講師が多いので韓国側にも有益と考える。2020年8月で進めてほしい。

→再検討

[学術研修部]

1. 管理者研修会について

「目的」

福岡県内施設間の管理者ネットワークの構築

- ①地域包括ケアシステム構築に対応できる組織ネットワークづくり
- ②質の向上に資する組織体制づくり
- ③危機管理に資する組織体制づくり
- ④職能団体としての発言力強化に資する組織体制づくり

日 時

・福岡支部

日 時:2019年6月16日(日) 14:00~17:30

会 場:和白リハビリテーション学院

・筑後支部

日 時:2019年6月30日(日) 14:00~17:30

会 場:国際医療福祉大学

・北九州支部

日 時:2019年7月7日(日) 14:00~17:30

会 場:製鉄記念八幡病院

内 容

- ・各施設で取り組まれている内容を共有する。
- ・グループワークはファシリテーターを置き、また、発表など情報共有を図る

14:00~14:20 管理者ネットワーク構築について(2019年度の取り組みと展望) 他
公益社団法人福岡県理学療法士会 理事 諫武 稔

14:20~15:00 理学療法士のマネージメント
公益社団法人福岡県理学療法士会 会長 西浦 健蔵

15:00~16:30 各施設における事例紹介
・診療報酬に関するマネージメント(20分)
・リハビリテーション部組織、運営マネージメント(20分)
・新人教育マネージメント(20分)
臨床教育及び実習指導について(30分)
公益社団法人福岡県理学療法士会 理事 宇戸 友樹

16:30～17:30 ワールドカフェ（討論）（グループワーク）（名刺交換）

テーマ：新人マネジメントと臨床教育、モチベーションマネジメント

※事例紹介予定講師

診療報酬に関するマネジメント

- ・福岡支部：泉 清徳 氏（聖マリア病院）
- ・筑後支部：泉 清徳 氏（聖マリア病院）
- ・北九州支部：林 秀俊 氏（JCHO 九州病院）

リハビリテーション部組織、運営マネジメント

- ・福岡支部：諫武 稔 氏（福岡青洲会病院）
- ・筑後支部：西浦 健蔵 氏（甘木中央病院）
- ・北九州支部：小柳 靖裕 氏（製鉄記念八幡病院）

新人教育マネジメント

- ・福岡支部：小島 栄樹 氏（白十字病院）
- ・筑後支部：村上 武 氏（柳川リハビリテーション病院）
- ・北九州支部：長谷川 優 氏（正和なみき病院）

以上の先生方へ依頼もしくは受講予定者の先生方から講演者を依頼。

宇戸理事より説明

西浦会長：自分は理学療法士のマネジメントとリハビリテーション部組織、運営マネジメントに名前が載っているが、後者は別の方が良いのではないかと。

山内理事：北九州市では医療介護連携プロジェクトが立ち上がった。そこで決まったことを理学療法士会として推奨したいと説明をさせて欲しいので、北九州地区では出来れば 30 分前に開始させていただき、それを説明できる機会をいただきたい。北九州市では独自に介護保険の実績と医療の実績を分析し、独自のシステムを作ろうと取り組みされている。画期的な取り組みなので、是非、地区の管理者に知ってもらいたいと考える。

諫武理事：その説明の 30 分は会の途中や最後に入れ込むことも可能である。

西浦会長：開始時間を早めると集まりにくいかもしれないので、時間は相談して下さい。

北九州地区のみプロジェクトの説明を入れ込むことに関しては承認とする。

→山内理事の提案を承認

廣滋学術局長：3 会場すべてでなくていいのか。他の支部で話を広げなくていいか。

山内理事：北九州市の 2 次医療圏だけの話なので、北九州支部のみを希望する。

西浦会長：福岡支部、筑後支部でも同様の話があれば、都度入れ込む事の検討をしてほしい。

→承認

【社会局】

【その他事業 会員の福利厚生に関する事業】

[職能部]

1. 平成 30 年度減点査定調査について

平成 30 年度減点査定調査ホームページ掲載内容についてご審議いただきたい（別紙 18-19）

久原理事より説明

近藤事務局長：前はアンケートの回収率が悪かった。

久原理事：前回、HP でのアンケートを試みたが、もっと早く、広く広報すべきだった。今回は前回の反省を踏まえ行動したい。

西浦会長：広報については検討して対応して下さい。

→承認

【支部局】

【法人事業】

1. 地区運営委員について

支部局 地区運営員の任期については運用上 4 月にさせていただいていたが、公募時期等含め局内でも意見が分かれている。他 理事のご意見をいただき現状通りの任期で行くか、理事・部長と同じ任期にするか決定したい。

岩佐支部局長より説明。

西浦会長：支部ではどのようにしたいのか。

岩佐支部局長：6 月に合わせた方がわかりやすいのではという意見のほうが多い。

西浦会長：地区の運営のあり方なので支部で検討して良いと思う。4 月から 3 月の任期になっていたのは、運営委員の職場移動の問題だったと思う。その問題が解決できるから 6 月でいいのではないか？

山内理事：運営委員の任期は 2 年だが、地区によっては、2019 年度公募と 2020 年度公募が混在していて、管理しにくいので、移動などで抜けた委員の補充委員に関しても、2 年間で全うしていなくても、同じ年度で終了できるようにしても良いか？

遠藤理事：管理側も誰がいつ終了なのか、管理しにくい事情がある。

西浦会長：支部の運営がしやすい方向で検討してもらえばいい。

岩佐支部局長：支部で再検討して報告する。

近藤事務局長：現在、定款に沿って運営委員の募集をしている。募集時期を変更するなら定款を変えなければならず、それには総会承認が必要である。今年度は定款に沿って募集をすることが望ましい。

→再報告。

【その他】

「高次脳機能障がい連絡調整委員会」からの検討（別紙 20-21）

1. 高次脳機能障がいに対する研修会開催について

松崎地域包括ケア推進局長より説明。福岡県内で他団体が高次脳機能障がいについて色々な取り組みをしている中、福岡県理学療法士会は現在、何の取り組みも行っていない。高次脳機能障がい相談支援の中で訓練の相談件数が多く、理学療法士会として何らかの取り組みが行えないか提案したい。

岩佐支部局長：予算はつくか。つかないなら来年度以降の検討で良いのか。

諫武理事：補正予算で検討という形になる。

西浦会長：学術局および支部局で検討してください。

廣滋学術局長：県から連絡調整委員会への依頼があり、それに答えたいという、検討でいいのか。委員会の中で、県士会にどのようなことを求められているのか教えて欲しい。

松崎地域包括ケア推進局長：H13 よりこの連絡会は動いている。H23 から理学療法士はこの連絡会に県から選ばれて参加しているので、期待されていると感じている。高次脳機能障がいに対する理学療法士の訓練の方法について我々は介入出来る術があるので若い理学療法士の育成に深く取り組めればと思う。

→承認。開催内容について検討。

2. 研修会についての提案

佐藤理事：適時調査についての相談が多いので、そのあたりの情報共有は出来ないのか

西浦会長：公的な機関でその検討を行うのは、難しいのではないかと

諫武理事：管理者が施設基準のことを理解していない状況でマネジメントを行っていることを見聞きするので、そのような研修会はしてほしいという意見は以前よりある。

西浦会長：グループワークでそのような情報交換をしていただくのは可能かと考える。講義として行うのか、県士会としては難しいのではないかとと思う。

久原理事：職能部にも会員から相談や意見は実際に出ている。

西浦会長：診療報酬などの研修会もあるのでそちらで補ってもらえるか、管理者研修会のグループワークに時間に余裕があれば検討事項に入れるなどで対応してはどうか。

→管理者研修会で検討。

【各委員会】

【選挙管理委員会】

1. 選挙管理委員の立候補受付について

秋選挙管理委員長：去年の総会で委員数の増員の承認をうけ、1名の追加選出について募集を行っているが、現在、立候補者がいない状況である。委員会で推薦者

を検討し、推薦者を候補として総会で承認を受ける予定にしている。

【報告事項】

【会長】

1. 士会機能強化推進執行委員会意見交換会（三重県）
日 時：平成 31 年 2 月 8 日（金） 19：00～20：30
場 所：津駅前 アスト津 4 階 会議室
出務者：西浦
 2. 宮崎理学療法士会創立 45 周年記念式典
日 時：平成 31 年 2 月 9 日（土） 18：00～20：00
場 所：ニューウェルシティ宮崎
出務者：西浦
 3. 士会機能強化推進執行委員会意見交換会（長崎県）
日 時：平成 31 年 3 月 8 日（金） 18：30～20：30
場 所：長崎リハビリテーション病院
出務者：西浦
 4. 福岡県理学療法士連盟会議及び臨床理学療法研修会
日 時：平成 31 年 3 月 9 日（土） 11：30～16：00
場 所：麻生リハビリテーション大学校
出務者：西浦、近藤
 5. 福岡県臨床実習指導者育成についての意見交換会
日 時：平成 31 年 3 月 20 日（水） 11：00～13：00
場 所：福岡山王病院
出務者：西浦
 6. 平成 30 年度第 3 回定期各県理学療法士会長会議
日 時：平成 31 年 3 月 30 日（土） 15：00～18：00
場 所：howffice net 会議室 博多駅前店 D 会議室
出務者：西浦、近藤
- 議 案：

【平成 30 年度事業報告及び決算報告】

- ① 九州理学療法士・作業療法士合同学会 2018in 沖縄終了報告（沖縄）
- ② 九州理学療法士作業療法士合同学会 40 周年記念式典終了報告（沖縄）
- ③ 第 2 回九州ブロックスポーツ大会報告（熊本）
- ④ 九州ブロック現職者講習会（佐賀）
- ⑤ 第 2 回九州ブロック政策検討委員会報告（鹿児島）
- ⑥ 九州ブロック臨床実習指導者研修会及び関係担当者会議報告

⑦ 九州ブロック災害対応担当者会議報告（熊本）

⑧ 平成 30 年度決算報告(事務局)

【2019 年度事業計画及び予算案】

① 第 1 回九州理学療法士学術大会 2019in 鹿児島進捗状況(鹿児島)

② 第 2 回九州理学療法士学術大会 2020in SASEBO 進捗状況(長崎)

③ 九州地区現職者講習会(鹿児島)

④ 九州地区管理・運営研修会(宮崎)

⑤ 九州ブロック臨床実習指導者研修会及び関係担当者会議(熊本)

⑥ 九州ブロック学術教育担当者連絡会議(沖縄)

⑦ 九州ブロック政策活動委員会(鹿児島)

⑧ 九州ブロック災害対応担当者会議(熊本)

⑨ 九州ブロック事務局長会議(沖縄)

⑩ 2019 年度予算案(事務局)

【審議事項】

① 次期ブロック代表士会長選出の件

② 次期ブロック監事選出の件

③ ブロック事務事項の件

④ その他

7. 平成 31 年度組織運営協議会（拡大）

日 時：平成 31 年 4 月 7 日（日）10：30 ～16：00

場 所：TKP 赤坂駅カンファレンスセンター

内 容：①JPTA 理事会傍聴（西浦）

②協議事項

・新生涯学習システムについて

③報告事項

・臨床実習指導者講習会について

・会館建設の方針と会館建設積立金の取り扱いについて

・腰痛予防普及事項について

・入会申請手続き一部変更について

④その他

・第 54 回日本理学療法学術大会 in 徳島について

出務者：西浦、近藤、宇戸

西浦会長：学校協議会とも協議しなければいけないが、まずは理学療法士の会員及び養成校における臨床実習者獲得を優先すべく、5/11 に養成校意見交換会を開催することに至った。作業療法士会ではその話が進んでおらず、作業療法士会の決定を待ち、足並みを揃えらるとなると、理学療法士の準備が遅れるため、今回は足並みを揃えず、まずは理学療法士の臨床実習者獲得を進めることで決定した。作業療法士会には事前に相談し、既にその決断を伝え、先方からも「それでいい」という

返事をもらっている。今年度より都道府県の指導者研修会の開催を開始し、福岡県では年6回を予定している。しかし、県士会で指導者研修会の予算を立てていない。当初、協会が援助する話もあったが、協会からは予算をつけないという判断を提示された。現在、講師料、会場費ともに出せる予算がない。佐賀県は養成校が出すという判断になったようである。予算を組みようがなく、協会は養成校主体であると、記載していることから、県士会としては補正を組むことも考えたが、現状では難しい状況であるので理解頂きたい。養成校と連絡協議会を作り、養成校負担でお願いしたいと伝える予定である。

永野理事：うちは出す、うちは出さないという養成校のばらつきがあった場合、どう調整するつもりか。

西浦会長：養成校で考えてもらうしか今回は手段がないと考える。これは福岡県理学療法士会の事業では無く、養成校の事業になる。5/11 養成校と話し合いをするが、その意向は伝える予定である。

永友副会長：養成校全額負担で、県士会0円というのは何とかならないのか。

西浦会長：お金を出したくないわけではないが、総会前に予算を組むことになり、現状では組みようがない。

山内理事：1回につき、どのくらいの予算がかかるのか、それによって養成校側に考える余地が出てくるのではないか。

宇戸理事：今回は、1回約5万程度かと考える。交通費によってはそれ以上になる。

山内理事：5万程度とっていいのか分からないが、会員の臨床家も参加させてもらっているので、無い袖は触れないが、余地があるなら、一部でも助成できないかと考える。

諫武理事：今年度の予算はぎりぎりであり、予定収入から予定支出の差額は26万円なので、補正や予期せぬ支出で赤字に転落しやすいことを伝えておく。現状で予算に入られると総会には赤字予算で提出することになるので、現状では難しいと考える。

西浦会長：5/11に話し合うので、その結果を総会の予算報告書に間に合うのか。

諫武理事：その頃には発送してしまうので、総会での承認は難しい。

永友副会長：上半期の収支報告の時点で検討出来ないか。5/11にどのような方向性になるか分からないが、やはり援助ということになれば、次回の7月の理事会で、補正事業として予算を組めないか。

近藤事務局長：今、この予算について決めることはできないし、5月の話し合いで、初めてその情報を養成校側は知るかもしれない。ちゃんと整理して養成校にも検討してもらった方が良く考える。

森田監事：協会は指定規則の改正によって臨床者獲得しなければいけなくなった。協会は県士会に協力を要請し、報酬を県士会主導で考えてくれとやってきた。厚労省はどこ主導でもいいが職能団体で教える内容を統一し指導するようにやってきた。

協会はまずは指導者を養成するための講師を育成しようと、中央講習会の回数を当初より増やしてくれて 11 回実施する予定である。予算に関しては当初協会が出すと言っていたが、養成校にシフトした。養成校の中には、それに積極的な学校と消極的な学校といろいろな状態である。県士会の予算が難しいのであれば、養成校で負担しなければいけないことについて予測している養成校もあると考えられる。現場の先生に研修会を受けてもらうための工夫を各養成校で取り組んでいるが、その足並みはそろっていない状況であることは知っておいてもらいたい。隣県では指導者研修会の 1 回開催が多いが、福岡県は 6 回である。調整する県士会が大変なことも理解できるので、どう養成校と協力できるか考えてほしい。予算に関しても、養成校負担について養成校は仕方ないと思っている部分はあるが、やはり助けてほしいと期待している。会員の指導、育成という部分で協力および来年度の予算の検討なども考えてほしい

廣滋学術局長：県士会の負担は大きいのは理解している。6 回の講習会の予算が難しいことは分かっている。ただ、少なくとも養成校だけの問題ではなく、会員の教育という部分で県士会に検討して欲しい。もともと学術部には臨床実習指導研修会があり、臨床実習者の教育を行う事や向上することを目的としていた。これは年 1 回であり、臨床実習講習会は年 6 回の開催で、他県よりも多い開催で、お金が生じ、予算は抑えないといけないが、これまでの臨床実習研修会と同じ位置づけで考え、臨床実習についての新しい体制の浸透に県士会は取り組んだ方が良く考える。

岩佐支部局長：いつ、どこで開催するのかという質問が多く出ている。

西浦会長：それは、協会から受けて、今後、養成校との協議の上、養成校から発信してもらう予定である。県士会はあくまで調整なので、決まっていないことに対し現状では答えられない。

【事務局長】

1. 内部監査

日 時：平成 31 年 4 月 18 日（木）19：00 ～21：10

場 所：本会事務所

内 容：平成 30 年度事業および平成 30 年度決算に関する監査

出務者：日野、森田、近藤、平原、中山、長田、時吉

2. 後援名義一覧（別紙 22-23）

近藤事務局長より報告

【事務局】

【公益事業 1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

I. 事業

[組織部]

1. 第28回 福岡県理学療法士学会託児業務
日 時：平成31年2月3日（日）8：15～16：50
場 所：福岡国際会議場
内 容：利用児童14名
出務者：永野、磯邊、元村、橋本

【公益事業2 理学療法の知識・技術の普及・啓発を行う事業】

I. 事業

[組織部]

1. メンタルヘルスアンケート調査
平成31年2月22日（金）～平成31年4月30日（火）
2. 会員広報媒体活用状況調査
平成30年12月～平成31年3月にて各研修会等参加者に対して実施
3. イベント管理システム構築
4. 福岡県理学療法士会ホームページ・アプリ掲載依頼 様式変更

永野理事より報告。HPを作成してもらった業者より、会社の業績として掲載したいという依頼があった。個人情報に該当しない範囲であれば掲載可能と返答する予定である。

【法人事業】

I. 事業

[総務部]

1. 第1回 JIMTEF 災害医療研修スキルアップコース
日 時：平成31年2月16日（土）10：00～17：00
場 所：国立病院機構 災害医療センター
出務者：平原
2. 福岡県災害時福祉等専門人材派遣連絡会議
日 時：平成31年3月19日（火）14：00～15：30
場 所：福岡県庁舎行政棟
出務者：平原、池永
3. 公益法人インフォメーション2019年度事業計画書等の提出作業実施
日 時：平成31年3月29日（金）13：30～14：00
場 所：県士会事務所
出務者：中山・長田

II. 関係会議

1. 総務部会議

日 時：平成 31 年 3 月 8 日（金）19：00～20：30

場 所：福岡青洲会病院

出務者：近藤、諫武、平原、加藤、池田

[財務部]

I. 事業

1. 決算報告について

1) ①平成 30 年度決算については、決算書類参照。（別紙 2-8）

平成 30 年度決算において、①収支相償（△ 4,090,191 円）、公益事業比率（73.96%）、遊休財産の保有制限クリアとなり、公益法人としての条件は、クリア。

（別紙：貸借対照表、正味財産増減計算書内訳表、財務諸表に対する注記、付属明細書、財産目録、局・部別予算執行状況表
別表 G：収支予算の事業別区分経理の内訳表）

2. 福岡県理学療法士学会会員外納入窓口設置

1) 会費相談窓口

日 時：平成 31 年 2 月 3 日（日）9：00～16：30

場 所：福岡国際会議場

出務者：太田

【学術局】

【公益事業 1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

I. 事業

[学術局]

1. 臨床実習指導者講習会の会場と開催日程の件

3 月 5 日を締め切りとして養成校に会場借用可能日を確認した。

西浦会長にくじ引きによる抽選を行っていただき、下記の会場が決定した。

公文書にて養成校へ報告する手続き中である。

第 1 回 7 月 27-28 日 国際医療福祉大学

第 2 回 8 月 24-25 日 九州栄養福祉大学

第 3 回 9 月 14-15 日 福岡国際医療福祉大学

第 4 回 10 月 26-27 日 九州医療スポーツ専門学校

第 5 回 11 月 30 日-12 月 1 日 麻生リハビリテーション大学校

第 6 回 12 月 7-8 日 柳川リハビリテーション学院

廣滋学術局長より報告。各養成校に連絡を行った。第 3 回の福岡国際医療福祉大学については 9 月 21-22 日へ変更の可能性はある。

2. HP の学術局ページ追加について

- 1) 理学療法福岡の投稿規程 (PDF)
- 2) 同書式の記載参考例 (ワード形式)
- 3) 支部共通の症例検討会抄録様式 (執筆要項) (PDF)
- 4) 同添付書類としての CARE 声明の説明とリンク先 (ppt)
- 5) 研究助成の申請書 (ワード)
- 6) 学会開催案内や演題募集 (ワード)
- 7) 理学療法福岡バックナンバー (PDF)

など随時追加する。

廣滋学術局長より報告。HP 内に学術ページを新たに作成してもらった。

3. 2019 年度の分科学会・部門研修会の事業委託について

<研修会詳細>

研修会名：〔徒手理学療法部門〕軟部組織モビライゼーション

担 当：徒手理学療法部門

日 時：2019 年 9 月 1 日 (予定)

会 場：未定 (会場候補地は麻生リハビリテーション大学校)

参加費：6480 円

申込受付人数：40 名

に関する協会からの委託について審議し、承認した (委託を受け、学術研修部で運営協力検討)。

廣滋学術局長より報告

[学会部]

1. 第 28 回福岡県理学療法士学会報告

1) 参加者数 合計 592 名

(県内 PT574、県外 PT10 名、OT5 名、看護師 1 名、学生 1 名、非会員 1 名)

新人教育プログラム単位対象 59 名 参加者前年比較+146 名

2) 表彰演題一覧

最優秀賞

「カテコラミン依存およびカヘキシー栄養障害をきたした重症心不全に対する運動療法の効果」

荒木真由美 氏 (木村病院)

優秀賞

「頸髄損傷者における排痰介助度の経時的変化と因子分析」

須堯 敦史 氏 (総合せき損センター)

「脳卒中片麻痺者における自立歩行獲得者の特徴 ～基本動作の獲得過程と長下肢装具の使用期間に関する調査～」

山口 雄介 氏（福岡和白病院）

「脳卒中患者の歩行の予後に関する文献研究」

照屋 康治 氏（桜十字福岡病院）

奨励賞

「機能的電気刺激と運動療法により歩容と歩行能力の改善がみられた脳卒中片麻痺患者の一例」

新屋 成征 氏（久留米リハビリテーション病院）

ベストポスター賞

「測定条件の違いが Star Excursion Balance test に及ぼす影響～靴と裸足の比較～」

西原 翔太 氏（大牟田市立病院）

3) 第30回福岡県理学療法士学会 学会長公募開始

期間：2019年4月1日（月）～5月31日（金）

例年より募集を2ヶ月早めているため立候補がなければ従来通り支部からの推薦をお願いする。

県士会 HP・FAX 通信でアナウンス済み。

4) 演題募集期間

昨年同様、8月1日（木）～8月31日（土）とする。延長期間は～9月15日（日）まで。

県士会 HP でアナウンス済み。

音地理事より報告。

[学術誌編集部]

1. 理学療法福岡 32号 完成版

1) 巻頭言：廣滋 恵一 氏（学術局局長）

2) 特集テーマ：スポーツリハビリテーション

梶村 政司 氏：東京2020五輪・パラリンピック競技大会に向けた日本理学療法士協会の取り組み

野原 英樹 氏：スポーツ障害に対するスポーツリハビリテーション

三浦慶太郎 氏：障がい者に対するスポーツリハビリテーション

3) 講演録：藤縄 理 氏（福井医療大学）

井垣 誠 氏（公立豊岡病院日高医療センター）

今屋 健 氏（関東労災病院）

勝木 秀治 氏（関東労災病院）

牧迫飛雄馬 氏 (鹿児島大学)

高橋 哲也 氏 (順天堂大学)

4) 教育講座

テーマ：抄録の書き方

執筆者：山内 康太 氏 (製鉄記念八幡病院)

5) 県学会受賞論文

第26回県学会優秀賞：山内 康太 氏 (製鉄記念八幡病院)

標題：運動失調を呈する急性期脳卒中の Scale for the Assessment and Rating of Ataxia による運動失調重症度評価の有用性
—退院時転帰先予測および反応性について—

第27回県学会奨励賞：和田あゆみ 氏 (JCHO九州病院)

標題：高齢女性における大腿骨近位部骨折術後の歩行予後に影響する因子
—地域連携パスのデータを用いての検討—

6) 一般投稿論文

調査・研究

【原著】

①岡 真一郎 氏 (国際医療福祉大学福岡保健医療学部理学療法学科)

標題：臨床実習での情意領域に対する教育効果の関連因子
—診療参加型臨床実習と従来型臨床実習の比較—

②烏山 昌起 氏 (田原整形外科)

標題：肩関節疾患患者の夜間痛に対する就寝指導パンフレットの満足度調査
—CS 分析を用いた検討—

③有働 大樹 氏 (正和中央病院)

標題：両側の大腿骨近位部骨折患者における日常生活動作の変化と再骨折因子

④井澤 渉太 氏 (福岡リハ整形外科クリニック)

標題：変形性膝関節症患者の低い主観的幸福感に影響する因子：横断研究

実践報告

⑤遠藤 正英 氏 (桜十字福岡病院)

標題：当院における新人教育の効果

症例報告

⑥谷 和 氏 (高木病院)

標題：外傷性良性発作性頭位めまい症を呈した症例に対する耳石置換法および患者教育の効果

⑦茅島 大樹 氏 (久留米大学病院)

標題：破傷風患者における早期理学療法の検討

⑧荒木真由美 氏 (木村病院)

標題：深部静脈血栓が残存する肺高血圧症患者に対する下肢静脈血栓助長予防のための足関節運動介入

⑨藤達 沙耶 氏（済生会八幡総合病院）

標題：脳梗塞発症後に軽度の運動麻痺と著明に歩行能力やバランス機能が低下した症例：自転車エルゴメーターの回転数に着目した AB デザインによる介入

7) 編集後記：梅野 和也 氏（学術誌編纂部部長）

佐藤理事より報告。

[学術研修部]

1. 平成 30 年度 専門理学療法研修会

日 時：平成 31 年 3 月 17 日（日）（9：00～受付）

第 1 部 9：30～12：30 第 2 部 13：30～16：40

場 所：南近代ビル

テーマ：「脳画像のリハビリテーションへの活用～画像から考える臨床症状とアプローチ」

講 師：阿部 浩明 氏（広南病院リハビリテーション科 総括主任）

テーマ：「脳卒中の姿勢・歩行制御障害に対するアプローチ」

講 師：植田 耕造 氏（CHO 星ヶ丘医療センター リハビリテーション部 初級技師）

定 員：130 名

受講者：100 名（事前申込：117 名）

出務者：山口、長谷川、白川、丸山

宇戸理事より報告。

[教育研修部]

1. 平成 30 年度 臨床理学療法研修会

日 時：平成 31 年 3 月 9 日（土） 14：10～16：30（受付 13：00～）

場 所：麻生リハビリテーション大学校

内 容：第 1 部：14：10～15：00

テーマ：「理学療法士の未来」

講 師：田中 昌史 氏（日本理学療法士協会理事 日本理学療法士連盟顧問）

第 2 部：15：00～16：30

テーマ：「歩行のバイオメカニクス 基礎！」

講 師：玉利 誠 氏（国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科准教授）

※当日受付、単位認定

定員：100名

受講者：1) 受講者数：31名

単位認定者：C-2 運動器疾患の理学療法 21名

2) 遅刻者：なし

出務者：嶋邨、脇坂、宇戸

2. 臨床実習指導者講習会 会場について

2019年度臨床実習指導者講習会6回分の会場が以下の様に決定しています。

国際医療福祉大学：2019年6月22日・23日

九州栄養福祉大学：2019年8月10・11日もしくは8月24・25日

福岡国際医療福祉大学：2019年9月14・15日

九州医療スポーツ専門学校：2019年10月5・6日もしくは10月26・27日

麻生リハビリテーション大学校：11月30日・12月1日

柳川リハビリテーション学院：12月7日・8日もしくは12月14日・15日

宇戸理事より報告。

[卒前・卒後教育検討委員会]

1. 第2回卒前卒後教育検討委員会

日時：平成31年2月13日(水) 19:00~21:00

場所：麻生リハビリテーション大学校 131教室

内容：・アンケート内容について

目的：・診療参加型実習の手引きの認知度を確認

・診療参加型実習の県内実施状況と指導者の意見をアンケートにて集約し、会員へ配信と情報共有を行うと共に今後の委員会活動へ反映させる。

・アンケート実施方法の確認

・集計作業と会員へのフィードバック確認

・臨床実習指導者要件と指導者講習会について

・新生涯学習システムの情報共有

出務者：石橋、柳田、佐藤、松崎、吉村、宇戸

宇戸理事より報告。

[研究助成審議会]

1. 第1回研究助成審議会審査結果

2件の採択を決定(採択者へ2月15日通知、研究費振込完了)

廣滋学術局長より報告。

II. 関係会議

[学会部]

1. 第28回福岡県理学療法士学会 事前打ち合わせ会議

日時：平成31年2月2日（土）18：30～21：00

会場：福岡国際会議場・西鉄イン福岡（アクロス福岡前）

出務者：廣滋学会長、菊地尚久（講師）、庄本康治（講師）、山内康太（講師）西浦
会長、森聡（司会）、鈴木次期学会長、富澤、吉田、林田、丹生、山口、音
地

2. 第4回学会部会議

日時：平成31年3月22日（金） 19：00～21：30

会場：WEB会議

出務者：林田、富澤、山口、吉田、丹生、鈴木学会長、音地

[学術誌編集部]

1. 第3回学術誌編集部会議

日時：平成31年2月14日（金） 19：00～21：00

会場：麻生リハビリテーション大学校

出務者：佐藤、宮崎、上瀧、梅野、末松、伊藤、古井

[学術研修部]

1. 第6回学術研修部会議

日時：平成31年3月16日（土） 16：30～18：50

場所：麻生リハビリテーション大学校 会議室

内容：・平成30年度専門理学療法研修会の最終確認
・第102回福岡県理学療法士会学術研修大会 進捗状況確認

出務者：山口、長谷川、白川、丸山、宇戸

廣滋学術局長より報告。

【社会局】

【公益事業1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

I. 事業

[職能部]

1. 平成30年度福岡県訪問リハビリテーション実務者研修会

日時：平成31年3月16日（土）～17日（日）

1日目14：00～17：30、2日目10：00～16：45

場 所：福岡和白リハビリテーション学院

内 容：1日目 基調講演 14：15～15：45

テーマ：「吸引について」

講 師：井上 登太 先生（みえ呼吸嚥下リハビリクリニック）

司 会：吉永 明史 先生（福岡県言語聴覚士会 副会長）

内 容：1日目 講演 16：00～17：30

テーマ：「心肺蘇生等」

講 師：渡邊 岳人 氏（福岡和白病院 総合診療救急部師長 看護師）

司 会：鎌田 聡史 氏（株式会社シダー 作業療法士）

内 容：2日目 講演 10：00～11：30

テーマ：「自立支援に向けた訪問リハの関わり」

講 師：柴口 里則 先生（株式会社グリーンケア）

司 会：佐野 功一 氏（宗像水光会総合病院）

内 容：2日目 事例検討 12：30～14：30

テーマ：「「活動」「参加」に繋がった事例発表」

講 師：PT 林 剛己 氏（遠賀中間医師会おんが病院）

講 師：OT 木村 教子 氏

講 師：ST 御手洗千尋 氏

司 会：綱脇 昇平 氏（株式会社シダー）

内 容：2日目 講演 14：40～16：40

テーマ：「訪問リハ・サービスに関する制度改正と今後の展望」

講 師：内田 正剛 氏（株式会社くますま）

司 会：福田 裕樹 氏（新やなぎ健診クリニック）

出務者：西浦、竹下、綱脇、中島、六反

参加者：152名（PT:74名、OT:60名、ST:18名）

久原理事より報告。

【公益事業2 理学療法の知識・技術の普及・啓発を行う事業】

I. 事業

[公益事業推進部]

1. 北九州マラソン 2019

日 時：平成31年2月17日（日）7：00～17：00

場 所：北九州市

内 容：救護所での診療の補助など

出務者：61名

2. 食と健康を学ぼう

日 時：平成 31 年 3 月 3 日（日）10：00～13：00

場 所：小倉医師会館

出務者：16 名

利用者：108 名

【公益事業 3 理学療法の知識・技術を提供する事業】

I. 事業

[公益事業推進部]

1. 平成 30 年度障害者スポーツ研修会 第 7 回 車いすテニスメディカルトレーナー養成研修会④

日 時：平成 31 年 2 月 8 日（金）19：00～21：00

場 所：宗像水光会総合病院

テーマ：「総論・現場のコンディショニング、研修会まとめ、実践形式」

出務者：植田、高橋、三浦、久保田、中田

参加者：5 名

2. 北九州 OPEN 車いすテニス大会

日 時：平成 31 年 3 月 1 日（金）～3 日（日）9：00～17：00

場 所：北九州市立穴生ドーム

内 容：選手のコンディショニング調整

出務者：1 日：10 名、2 日：11 名、3 日：6 名

利用者：1 日：44 名、2 日：40 名、3 日：19 名

3. その他スポーツ障害予防に対する活動全般事業（スポーツ障害（傷害）予防事業）

事前研修会

日 時：平成 31 年 3 月 3 日（日）10：00～14：00

場 所：福岡医療専門学校

テーマ：「少年野球に関わる障害（傷害）予防事業講習会」

講 師：鶴田 崇 氏（南川整形外科病院）

出務者：長和、久保田

参加者：12 名

高橋社会局長より報告。

【支部局】

【公益事業 1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

I. 事業

[福岡支部]

1. 平成 30 年度 福岡支部合同症例報告会

日 時：平成 31 年 3 月 10 日（日）13：00～17：30

場 所：麻生リハビリテーション大学校

内 容：「福岡支部合同症例報告会」

講演 1 「脳卒中片麻痺患者の歩行特性 ～バイオメカニクスの視点から～」

講師 1 田邊 紗織 氏（誠愛リハビリテーション病院）

司会 1 久保田勝徳 氏（桜十字福岡病院）

講演 2 「地域在住の高齢者における身体活動量と身体組成

～理学療法士としての具体的な介入の視点～

講師 2：園田 剛之 氏（麻生リハビリテーション大学校）

司会 2：馬場 慶和 氏（原土井病院）

症例報告：21 名

1) 「脳梗塞により歩行障害を呈した症例 ～痙縮に対する治療戦略～」

金田 洋一 氏（うちかど脳神経外科クリニック）

2) 「神経線維種により左下腿再切断を施工した症例の杖歩行自立獲得を
目指して」

松本 恵幸 氏（原土井病院）

3) 「運動・薬物療法により酸素化・ADL が改善し HOT 導入を回避できた
器質化肺炎の一症例」

石隈 就也 氏（木村病院）

4) 「重度脳卒中片麻痺患者における歩行再建」

久保田勝徳 氏（桜十字福岡病院）

5) 「脳梗塞（MCA 領域）による重度弛緩性麻痺を呈し、Pusher 現象を認
めた症例の急性期リハビリテーション」

森田 圭哉 氏（宗像水光会総合病院）

6) 「全人工股関節置換術後の回復期における股関節外転筋力 と歩行速
度の変化」

波平 萌子 氏（福岡みらい病院）

7) 「左 TKA を施行した症例に対し左立脚期に着目して理学療法介入を行
い歩容の改善がみられた一例～膝関節固有感覚に着目して～」

山本 智哉 氏（新生会病院）

8) 「足関節外果骨折術後の歩行時痛に対し、テーピングを用いた治療が
有効であった例」

濱地 俊輔 氏（木村病院）

9) 「著明な認知機能低下と下肢浮腫によりゴール設定に難渋した左大腿
骨転子部骨折術後の症例」

佐藤 教真 氏（福岡青洲会病院）

10) 「左大腿骨顆上骨折を呈した症例について」

- 坂井 智香 氏 (宗像水光会総合病院)
- 1 1) 「変形性膝関節症による疼痛を軽減させ、長距離歩行を獲得し、在宅復帰が可能となった症例」
藤田 里奈 氏 (桜十字福岡病院)
- 1 2) 「人工股関節置換術後の筋力増強運動 ～股関節外転筋・膝関節伸展筋に着目し歩行獲得を目指して～」
土屋実優斗 氏 (福岡東医療センター)
- 1 3) 「歩行の再獲得が困難であった右大腿骨転子部骨折術後患者における自宅退院支援の経験 ～家族指導の可能性～」
新福 晃基 氏 (桜十字福岡病院)
- 1 4) 「脊柱管狭窄症により単麻痺をきたした症例～復職を見据えた介入～」
宗 彩加 氏 (福岡青洲会病院)
- 1 5) 「術側への荷重に難渋した右人工膝関節全置換術後の理学療法経験」
秦 綾花 氏 (福岡みらい病院)
- 1 6) 「人工骨頭置換術後、トレンデレンブルグ徴候を認めた症例に対して行ったアプローチの一例 ～下行性運動連鎖から体幹機能に着目して～」
服部 寛人 氏 (原土井病院)
- 1 7) 「右被殻出血により左片麻痺を呈した症例に対する理学療法 ～歩行自立・就労動作獲得による復職に向けて～」
木下 賢史郎 氏 (桜十字福岡病院)
- 1 8) 「早期から介入することで基本動作能力が改善した症例～急性期における歩行訓練の重要性について～」
前田 翔陽 氏 (福岡青洲会病院)
- 1 9) 「左延髄外側梗塞 (ワレンベルグ症候群) により小脳性運動失調、歩行障害を呈した症例 -失調症状、歩行能力改善に着目して-」
黒川 慶紀 氏 (宗像水光会総合病院)
- 2 0) 「くも膜下出血と脳梗塞を合併し重度両片麻痺を呈した症例に対する理学療法」
轟木 聡 氏 (桜十字福岡病院)
- 2 1) 「左視床出血により右上下肢麻痺を呈し、精神疾患の影響により運動実施に難渋した一例」
伴 優香 氏 (宗像水光会総合病院)

参加者：108名

出務者：遠藤，山口，久保田，齊藤，下川，荒木，川崎，大畠，馬場，伊集院，阿部，中島，橋本

[北九州 2 地区]

1. 第 6 回北九州 2 地区研修会

日 時：平成 31 年 2 月 21 日（木）19：00～20：30

場 所：JCHO 九州病院

テーマ：症例検討会

演 題：1) 「うっ血性慢性心不全に伴う長期臥床により ADL 低下を呈した症例
～運動耐容能改善を目指して～」

山下 大地 氏（萩原中央病院）

2) 「右大腿義足使用者が左頸腓骨骨折受傷により、起立動作が困難となった症例」

稲富 早紀 氏（正和中央病院）

3) 「鏡視下 Bankart 修復術後にスポーツ復帰を目指した一症例」

久保紗也花 氏（田原整形外科医院）

4) 「心不全後に肉体労働復帰を目指した症例」

平 圭一郎 氏（東筑病院）

5) 「人工股関節全置換術後に自覚的脚長差を是正し、二次的障害の予防を図った一例」

椛田幸太郎 氏（戸畑共立病院）

6) 「歩行時の転倒恐怖感に着目した介入により ADL の拡大を目指した症例～自宅退院に向けて～」

田中 佑佳 氏（正和なみき病院）

7) 「慢性腎不全を併存した左大腿骨ステム周囲骨折術後の患者様に対しての運動療法の工夫」

後藤 健太 氏（正和なみき病院）

司 会：鳥山 昌起 氏（田原整形外科医院）

参加者：58 名

出務者：村上、星木、熊谷、立石、和田

2. 第 7 回 北九州 2 地区研修会

日 時：平成 31 年 3 月 20 日（水）18：30～21：30

場 所：JCHO 九州病院

テーマ：「パーキンソン病患者に対する運動療法～二次障害までを想定して～」

講 師：松垣竜太郎 氏（産業医科大学病院）

司 会：曾我部紳吾 氏（北九州八幡東病院）

参加者：128 名

出務者：鳥山、熊谷、後藤、立石、原口、藤田、星木

[筑豊地区]

1. 第7回 筑豊地区研修会

日 時：平成31年2月23日（土）15：00～18：00

場 所：飯塚病院エネルギーセンター6階大会議室

テーマ：「腰部変性疾患と理学療法の包括的な関わり方」

講 師：中元寺 聡 氏（福岡志恩病院）

司 会：井幡 康明 氏（ムーブメント飯塚）

参加者：12名

出務者：山崎、横手、尾方、梶原、引田

[筑後支部]

1. 第5回筑後支部研修会

日 時：平成31年1月12日（土）15：00～18：00

場 所：柳川リハビリテーション学院

テーマ：「骨格筋を3次元的に触る事で ～肩・上腕の触察～」

講 師：木原 太史 氏（足達消化器科整形外科医院）

司 会：榊 英一 氏（柳川リハビリテーション学院）

出務者：村上、江頭、野田、平田、山田、伊藤

参加者：36名

2. 第6回筑後支部研修会

日 時：平成31年2月15日（金）19：00～21：00

場 所：久留米リハビリテーション学院

テーマ：症例報告会

座 長：木原 太史 氏（足達消化器科整形外科医院）

川原 敏郎 氏（聖マリア病院）

山田 博文 氏（大牟田天領病院）

家守 秀彰 氏（甘木中央病院）

水野 政慶 氏（聖マリア病院）

平田 大勝 氏（柳川リハビリテーション学院）

症例報告：

1) 「体幹失調を呈した症例の治療内容検討 ～デマンドを尊重し目標設定を行った一症例～」

山田 梨奈 氏（甘木中央病院）

2) 「脳幹出血により運動失調を呈した症例 ～自立歩行の獲得を目指して～」

今村 泰隆 氏（甘木中央病院）

3) 「アテローム血栓性脳梗塞を発症した一症例について」

～非麻痺側優位となる起立動作に着目して～」

岩佐 道隆 氏 (柳川リハビリテーション病院)

- 4) 「アテローム血栓性脳梗塞、被殻出血を発症し、動作定着に難渋した一症例
～起き上がり動作獲得に向けて～」

櫛田 悠人 氏 (嶋田病院)

- 5) 「既往に重症筋無力症を呈した脳卒中患者に対し負荷量調節し買い物ができる歩行獲得した一例」

松田 淳平 氏 (久留米リハビリテーション病院)

- 6) 「仙骨骨折を受傷したパーキンソン病患者の治療経験」

田川 貴望 氏 (久留米リハビリテーション病院)

- 7) 「中大脳動脈梗塞により重度麻痺・重度混合型失調症を呈した一症例
～歩行訓練量が身体機能に及ぼす影響～」

森 将志 氏 (嶋田病院)

- 8) 「システム理論から検討し静的姿勢定位・安定性を獲得した一症例」

平野由雲太 氏 (柳川リハビリテーション病院)

- 9) 「両変形性股関節症を呈し右人工股関節全置換術を施行した症例 ～独歩獲得を目指して～」

大隈 美咲 氏 (川崎病院)

- 10) 「左変形性股関節症を呈し、左人工股関節全置換術を施行された症例
～歩行獲得に向けた術後早期からのアプローチ～」

芳田 真季 氏 (川崎病院)

- 11) 「疲労感と歩行時痛があり運動意欲の低下を認めた右変形性股関節症によるTHA術後患者に対する理学療法経験 ～社会参加レベルの歩行能力を獲得した一症例～」

佐藤 賢良 氏 (久留米リハビリテーション病院)

- 12) 「左脛骨骨幹部骨折により骨接合術を施行した症例 ～立脚初期の歩容改善に着目して～」

吹春 佑弥 氏 (川崎病院)

- 13) 「右脛骨開放骨折、左距骨脱臼骨折を呈した症例
～骨壊死を考慮した上での自立歩行獲得を目指して～」

石田 貴之 氏 (甘木中央病院)

- 14) 「右人工膝関節置換術後の歩容改善に向け術側前遊脚期に着目した症例について」

中山 啓太 氏 (柳川リハビリテーション病院)

- 15) 「左下腿骨骨折術後患者の理学療法経過 転倒傾向に対し退院後生活を考える」

中川原 匠 氏 (柳川リハビリテーション病院)

- 1 6) 「右人工股関節全置換術後の症例 -歩行時の膝疼痛に着目して-」
木村 倅晴 氏 (川崎病院)
- 1 7) 「変形性股関節症により人工骨頭置換術を施行した症例」
佐藤 里佳 氏 (朝倉医師会病院)
- 1 8) 「大腿骨転子部骨折により骨接合術を施行した症例 ～方向転換動作に着目して～」
戸田 みずき 氏 (川崎病院)
- 1 9) 「右肩関節後方脱臼後、肩関節拘縮を呈した症例 ～肩関節屈曲角度向上に向けて～」
東 拓美 氏 (川崎病院)
- 2 0) 「右上腕骨外科頸骨折を呈し骨接合術を施行した症例 ～結髪動作獲得を目指して～」
横山 海 氏 (川崎病院)
- 2 1) 「膝蓋骨骨折に対する理学療法 ～膝蓋大腿関節の機能改善に着目して～」
野副 良介 氏 (久留米大学病院)
- 2 2) 「左大腿骨顆上骨折後、骨接合術を施行した症例 ～膝関節可動域制限に着目して～」
坂本 一星 氏 (川崎病院)

出務者：福田、岩佐、綾部、仲、安、石橋、上瀧、木村、今村、西、谷口、塚田、中島、村山、村上、松崎、高木、伊藤、堤、鈴木、岡、上野、江頭、芝原、小出、江崎、松尾、中富、深野、榊、楠元

参加者：76名

学生3名 (九州栄養福祉大学1名、柳川リハビリテーション学院1名、福岡医療専門学校1名)

II. 関係会議

[福岡支部]

1. 平成31年度 第3回福岡支部症例報告会 第1回Web会議

日 時：平成31年3月11日(月) 19:00～21:00

場 所：Web会議

内 容：研修会のコンセプトに基づく発表内容の統一化、全体討議のテーマについて

出務者：久保田、玉利、植野、山口

[福岡2地区]

1. 第3回福岡2地区会議

日 時：平成31年3月8日 19:00～21:00

場 所：博愛会病院 博愛会地域リハビリテーションセンター
内 容：H31 年度上半期地区研修会運営協力者決め
出務者：中島、白石、中嶋、平井、今本、山口、有藪、白川、中塚、戸田、上内田、
橋本、今井、相浦、荒木

[筑後支部] なし

1. 第 4 回筑後 1 地区研修会事前会議
日 時：平成 31 年 1 月 11 日（金）19：00～20：00
場 所：朝倉医師会介護支援センター
内 容：「症例報告会について」
出務者：福田、安、川原、石橋、上瀧、木村、高村、西、立石、家守、塚田、水野、
田中、中島

【公益事業 2 理学療法の知識・技術の普及・啓発を行う事業】

I. 事業

[福岡支部]

1. 平成 31 年度 第 3 回福岡支部体力測定会
日 時：平成 31 年 2 月 26 日（火）9：00～12：30
場 所：イオン福岡東ショッピングセンター
利用者：39 名
出務者：石松、池田、阿部、仁位、川端、高橋、大畷、元島

[北九州支部]

1. 健康フェスタ
日 時：平成 31 年 3 月 9 日（土）10：00～14：00
場 所：穴生市民センター
内 容：体力測定、運動指導、健康についてのアドバイス
利用者：59 名
出務者：本田、上野、熊本、新井、帆足
2. 若年性認知症交流会
日 時：平成 31 年 3 月 24 日（日）11：45～12：45
場 所：北九州市総合保健福祉センター 5F コミュニティールーム
内 容：集団体操、運動（コグニサイズ）
利用者：24 名
出務者：本田、上野、藤本、水ノ江、平、小幡

[北九州 2 地区]

1. 北九州 2 地区体力測定会（戸畑リハビリテーションフェア）
日 時：平成 31 年 3 月 4 日（月）13：00～16：30

場 所：ウェル戸畑

内 容：体力測定会

1) 握力、CS30、TUG、基本チェックリスト

2) フィードバック

利用者：170名

出務者：伊藤、北口

II. 関係会議

[北九州支部]

1. 健康フェスタ体力測定会打ち合わせ会議

日 時：平成31年3月4日（月）19：00～20：00

場 所：東筑病院

議 題：健康フェスタ体力測定会打ち合わせと当日の役割などの確認

出務者：本田、上野、熊本、新井

[北九州2地区]

1. 第8回北九州2地区会議（社会会議）

日 時：平成31年3月1日（金）18：30～17：00

場 所：東筑病院

内 容：1) 今年度事業反省

2) 来年度事業振り分け

3) 評価内容検討

4) 来年度以降の学会発表計画

出務者：15名

2. 体力測定会（中間市）の打ち合わせ

日 時：平成31年3月7日（木）16：00～17：00

場 所：ハピネスなかま

内 容：事業内容について説明および挨拶

出務者：上野

【公益事業3 理学療法の知識・技術を提供する事業】

I. 事業

[北九州支部]

1. 北九州市すこやか住宅改造助成事業会議

日 時：平成31年3月14日（木）10：00～12：30

場 所：北九州市役所

内 容：1) 北九州市すこやか住宅改造助成事業について

2) 訪問診断事業における理学療法士・作業療法士の役割

3) 運用方法について今年度事業反省

出務者：長谷川、松岡、上野、井手、山内、原山、武智、橋本、都留
山内理事より報告。北九州市独自のシステムであるすこやか住宅改造制度が正しく運用されているか、専門家である PT、OT が助言し判断するように依頼された。現在スタッフを集め会議をした。委員は地域包括ケア推進リーダーを取得している回復期および生活期で活躍している PT を選定した。

【法人事業】

II. 関係会議

[北九州 1 地区]

1. 第 5 回北九州 1 地区会議

日 時：平成 31 年 2 月 20 日（水）19：00～20：00

場 所：小倉リハビリテーション学院 会議室

議 題：H30 年度北九州 1 地区下半期事業報告および H31 年度上半期事業予定確認

出務者：亀田、松浦、眞路、池田、國田、伊藤、緒方、藤内、右田、是末、久保、善明、濱邊、田鍋

【支部局】

1. 運営員の退任・新任について

[福岡支部]

退任

平山 剛士 氏（誠愛リハビリテーション病院）

江越 美香 氏（寺沢病院）

長尾 有起 氏（さく病院）

倉住 直樹 氏（福岡脳神経外科病院）

有馬真之祐 氏（夫婦石病院）

新任

仲吉 功治 氏（麻生リハビリテーション大学校）

藤森 麗樹 氏（夫婦石病院）

[筑後 1 地区]

新任

萬代 陽介 氏（嶋田病院）

退任

田中 芳征 氏（嶋田病院）

[筑後 2 地区]

新任

原 浩則 氏（八女リハビリ病院）

退任

中富 翔 氏（八女リハビリ病院）

その他（変更など）

姓名変更

旧：野田 彩夏→新：江崎 彩夏

所属変更

旧：上野 康博・所属：長田病院→新：上野 康博・所属：介護老人保健施設シャンティ

旧：芝原 夏樹・所属：柳川リハビリテーション病院→新：芝原 夏樹・所属：みずま通

所リハビリテーションセンター

【地域包括ケア推進局】

【公益事業1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

I. 事業

1. 研修会報告

[地域包括ケア推進局]

1. 介護予防推進リーダーステップアップ研修会

日 時：平成31年2月10日（日）8：30～16：30

場 所：小倉リハビリテーション学院

内 容：・「介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）について」
・「福岡県における介護予防事業の現状」
・「茨城県における住民主体の介護予防の取り組み」
・「住民主体の介護予防施策の立案について（事例提示とグループワーク）」

講 師：今村 純平・松崎 哲治・時吉 直祐・志田啓太郎

出務者：西村、中村、村田

【公益事業3 理学療法の知識・技術を提供する事業】

II. 関係会議

[地域包括ケア推進局]

1. 糸島市来年度事業について打合せ

日 時：平成31年2月25日（月） 19：00～21：30

場 所：糸島市役所

内 容：1. 経過報告 H30年度多職種連携研修について
2. 協議事項

(1) 平成30年度実績報告等について

①在宅医療・介護連携コーディネーターステップアップ研修事業

(2) 平成31年度委託事業について

- ①地域ケア会議アドバイザー派遣事業
- ②訪問型サービスC事業
- ③在宅医療・介護連携コーディネーターステップアップ研修事業
- ④地域リハビリテーション活動支援事業
- ⑤介護予防指導者育成研修事業

(3) その他

- ①九州大学との共同研究について

出務者：松崎、白石、井手、小西

2. 来年度糸島事業説明会

日 時：平成 31 年 3 月 6 日（水） 21：00～22：00

場 所：糸島市社会福祉協議会（社会福祉法人）糸島市健康福祉センター あごら

内 容：糸島市役所と協議した平成 31 年度委託事業についての話し合い

出務者：松崎

3. 地域ケア会議に対するリハビリテーション専門職の派遣に係る意見交換会

日 時：平成 31 年 3 月 28 日（木） 18：30～20：30

場 所：県庁地下 1 階南棟 行政第 2 号会議室

内 容：1. 各市町村での支援方法や内容についてアドバイザー同士での情報交換

2. 来年度の事業実施に向けての県への意見や要望

出務者：松崎、今村、時吉、志田、林、西村、帆足、有田、吉田、鳥山

松崎地域包括ケア推進局長より報告

【各委員会】

【50 周年記念式典準備委員会】（別紙 24-25）

1. 50 周年記念事業（公開講座、式典、祝賀会）準備進捗報告

別紙の通り現在準備を行っている。5 月より会員向けの案内開始予定。

廣滋学術局長より報告。各公益団体に案内を発送した。時吉理事に案内状を持参して官公省庁へあいさつに行ってもらっている。公開講座は講師が決まり、永野理事に協力してもらってチラシは、ほぼ完成した。委員としては一枚目のチラシを採用したいと考えている。市民及び会員に配布したいと考えている。公開講座については事前申し込みでメールおよびはがきでの申し込みとした。

西浦会長：チラシに関して「福岡県理学療法士会」の文字をもう少し大きくしてほしい。

希望として。

廣滋学術局長：参加費は 5000 円だが、招待客からは徴収しない。ご祝儀による収入はあるかもしれない。記念品も決まり、シンボルマークの応募は現在 4 件で、もう少し時間がかかりそう。ジャズボーカル&演奏のバンドを依頼し、予算内での出演を承諾頂いた。バンドの名前を募集中であるので、ネーミング

案を協力してほしい。

2. 50周年記念誌作成について

別紙の通り目次を作成し、記念誌作成準備を行っている。

写真収集および、原稿寄稿協力をお願いします。

廣滋学術局長：過去の理事、3役に寄稿依頼し、原稿を待っている状態である。過去イベントや事業の写真があれば、提供をお願いしたい。6月以降の新理事に各部局の原稿を依頼する予定である。「(各部局の)今とこれから」というテーマで7/31までに提出をお願いしたい。

諫武理事：県知事から返答が有り、福岡県議会中のため出席できないとのことであった。

3. 50周年記念式典準備委員会会議

日 時：平成31年4月12日(金) 18:30~20:00

場 所：web会議

出務者：近藤、諫武、吉村、廣滋

【確認事項】

【事務局】

【公益事業2 理学療法の知識・技術の普及・啓発を行う事業】

[組織部]

ホームページ、アプリ、ぴしゃっとの画像素材として、臨床現場の写真撮影の協力をお願いしたい。(急性期、回復期、生活期、スポーツ、小児、教育機関)(別紙26)

永野理事より報告。写真協力の依頼を差し上げた際にはご協力下さい。

【法人事業】

[総務部]

1. 2019年度・2020年度理事会スケジュールについて

2019年度・2020年度理事会スケジュールを作成しました。別紙27-28の予定で考えておりますので各部局の運営の参考に活用してください。

諫武理事より説明。8月のみ麻生リハビリテーション大学校以外の別会場で検討している。

2. 昨年総会時の検討課題としてあがっていた事項について各部局の対応確認いただきたい。(別紙29)

3. 総会資料配布までの流れ

4月27日(土)理事会

↓

5月10日(金)総会資料完成

↓

5月13日(月)製本業者へ発注依頼

↓

5月20日（月）事務所より代議員等へ郵送

↓

5月24日（金）代議員の手元へ届く（総会の3週間前）

次回理事会

令和元年 6月15日（土）臨時理事会

以上この議事録の内容が正確であることを証明するため、出席した会長、副会長、事務局
長ならびに監事は、次の通り署名する。

令和元年 5月15日

公益社団法人 福岡県理学療法士会